

広報

ただみ

12
2010 月号
No. 487
平成22年12月10日



今月の表紙

みんな待ちに待った「クリスマス会」。12月5日、交換するためのプレゼントを持って、朝日地区センターに子どもたちが集合。ホールが暗くなると、サンタさんが現れ、みんなにプレゼントをあげた。ゲームやプレゼント交換で最高の笑顔がはじけた。

第40回

只見町文化祭

町誘致企業「株式会社会津工場」紹介	2~3
第22回ふくしま駅伝競走大会 他	4~5
ユネスコ・エコパーク講演会 他	6~7
ユネスコ・エコパーク講演会 他	8~11
町の話	12~13

只見の自然と文化の創造をめざして

第40回 只見町文化祭

自然首都・只見からの発信

第40回を迎えた只見町文化祭が、11月3日に只見地区センターで開かれ、町内外から約1600人が来場しました。開館式で、文化祭実行委員会会長の目黒町長は「地域文化の伝承を通じて文化意識を高めるとともに温かい心のふれあいと豊かな人間性を育み、生き生きとした地域づくりにつなげていただく契機としていただきました」とあいさつを述べました。続いて、目黒町長、五十嵐拓町議会議長、飯塚恒夫町文化協会長、横山大太郎町教育委員長の4名によりテープカットが行われ、詰めかけた町民の方などが次々と入場されました。

入口を入ると、まず目に留まるのが自然首都・只見にかかわるブナセンターの取り組みを中心に世界遺産級のブナの森などを展示物やスクリーンで紹介した自然首都・只見メインコーナーです。只見の自然は世界的にも貴重で、はかり知れない価値があること、この自然と共存共栄していく重要性などについてアピールされたコーナーでした。

▼手工芸コーナー(折り紙体験)



▼民芸品コーナー(つる細工体験)



▼自然首都・只見メインコーナー



▼町民芸術コーナー



華やかに、美しく
**只見町文化協会・
 芸能発表会**



只見町文化祭事業の一環として、11月14日、只見町文化協会芸能発表会が、季の郷・湯ら里で開かれました。出演団体は、只見音楽研究会、宝生流謡曲研究会只見松楓会、コーラス・はなみずき、はぎの会、瞳の会、みのり会、只見町民謡会、只見つくし会、蒲生花輪踊り保存会の文化協会に加盟する9団体の皆さんで、美しい歌声や華やかな舞踊などを次々と披露、会場を訪れた約200名の方々は、最後まで大きな拍手を送り、芸術の秋にふさわしい一日を過ごされました。



▲久野俊彦氏による記念講演会「法印の活動と書物」

▼民芸品コーナー



▼手工芸コーナー



▼民話茶屋での昔話「管家ツヤさん」



民話茶屋では、町昔話の会の方や町内の小学生による昔語りがあり家族や先生など大勢耳を傾けていました。また、民芸品コーナーのつる細工体験や手工芸コーナーのフェルト手芸などの体験にはたくさんの方が参加、指導を受けながら作品を仕上げていました。

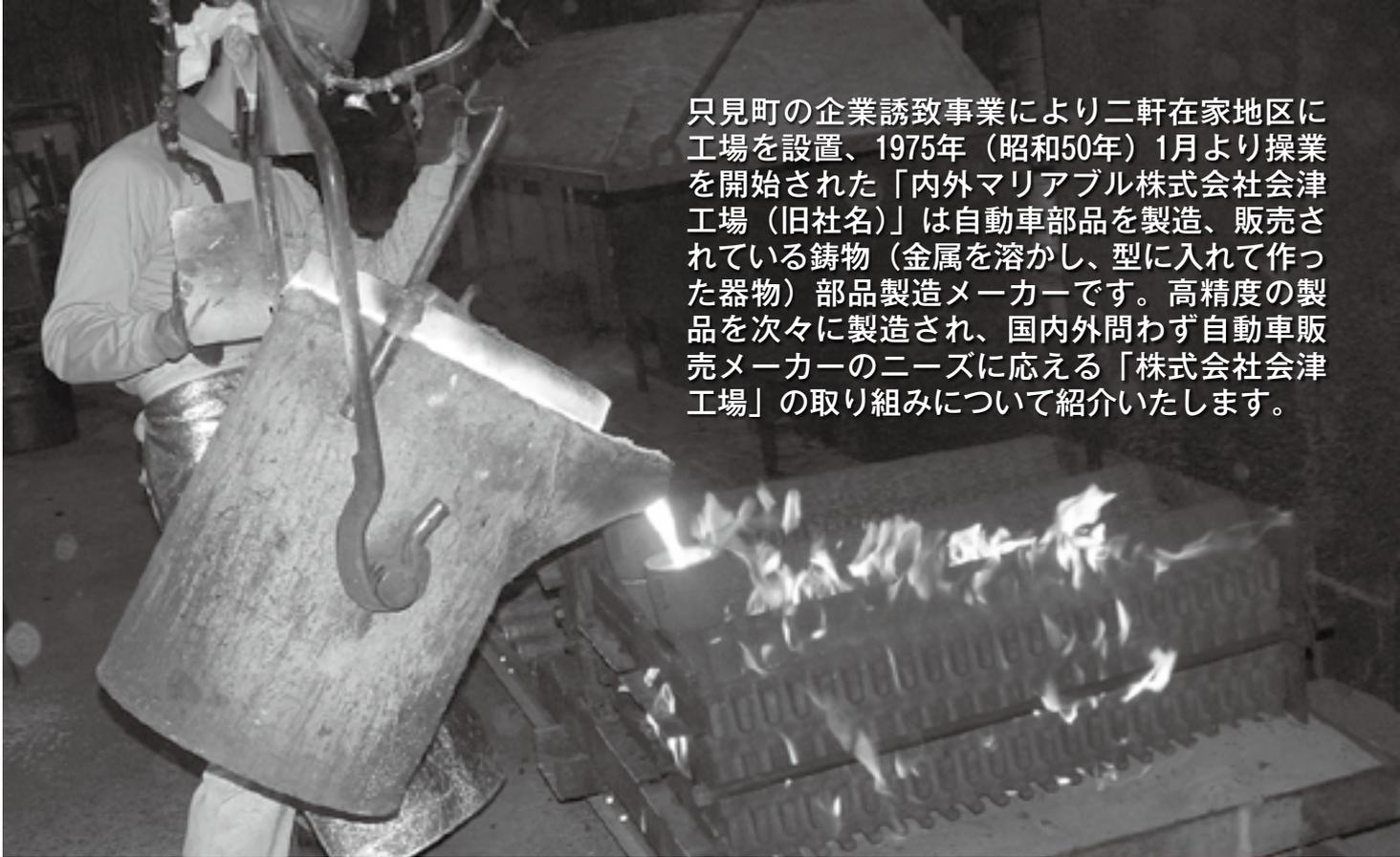
健康づくりコーナーでは「ぼくとわたしの自慢の朝ごはんコンテスト」の表彰式が行われ、優秀賞に選ばれた渡部瑠唯さん（朝日小6年）や平野創士くん（明和小1年）などに目黒町長から賞状や記念品が手渡されました。また、奥会津振興センターと奥会津5町村の活動、さらに伊南川再生に取り組み奥会津元気回復協議会の活動が紹介された奥会津振興コーナーも設けられました。

菊花・盆栽・山野草、いきいき只見高校の各コーナーには丹精された努力の結晶ともいえる作品の数々が展示され、入館者に感動を与えていました。

茶道コーナーや日赤奉仕団ともしび会が行なったバザー、NPO法人こまどり会の販売コーナー、地元青年によるふるさと食堂なども大勢の方でにぎわい、大好評でした。また、センター前広場で行われた野菜やキノコなどの物産販売も朝から人の列ができるほどの盛況ぶりでした。

▼ぼくとわたしの自慢の朝ごはんコンテスト表彰式





只見町の企業誘致事業により二軒在家地区に工場を設置、1975年（昭和50年）1月より操業を開始された「内外マリアブル株式会社津工場（旧社名）」は自動車部品を製造、販売されている鋳物（金属を溶かし、型に入れて作った器物）部品製造メーカーです。高精度の製品を次々に製造され、国内外問わず自動車販売メーカーのニーズに応える「株式会社津工場」の取り組みについて紹介いたします。

▲Hプロセス工法による製品の製造（鋳込み）

株式会社 会津工場

**世界が認めめたプロの技術
多様なニーズに応えるHプロセス工法**

Hプロセス工法の導入

イギリスで開発された「Hプロセス」という工法を1983年に導入、精密部品を製造する量産体制を確立、以後1988年にはHプロセス用の金型も社内でも製造するための金型工場を設置、同時に製品の切削加工部門もスタート、1999年から独自営業を開始、業務拡大を目指しました。

Hプロセス工法とは製品を作り出す型を何枚も重ね合わせ、精度の高い鋳物製品を一度の鉄の流し込みにより数多く製造する工法で、次のような利点があります。

- ▽コストの低減、効率の向上
- ▽寸法精度の向上、重量バラツキの減少
- ▽高い保温性により急冷を防ぎ、材質が均一になる
- ▽不良の減少
- ▽仕上げ作業の低減
- ▽各作業の単純化

この工法を行うことにより、作業の合理化と効率化が実現し

ますが、難易度が高く製品の量産体制が確立されている工場は国内では会津工場の一社のみで、世界でも数社ということになります。

会津工場でも、今の体制に至るまでは10年以上の期間を要し、その間、独自の研究や試作を繰り返し、社員全員で知恵を出し合い試行錯誤の結果、現在のシステムを確立されました。このプロセスを経て蓄積された会津工場にしかないノウハウは、自社ブランドとして同業者や世界の自動車メーカーから大きく評価され、注目されています。

この工法により製造される製品は、高精度に加え軽量で、複雑な形状の製品にも対応、さらに細かい部分は、切削加工を施すというすべての製造工程を自社工場内で行い、ローコスト化を実現、他社にはできない付加価値の高い製品となっています。

今後の展望と方針

只見町の誘致企業としてこの地で操業を開始し、36年になります。

一昨年のリーマンショック時は、明日の操業が危ぶまれるほどの厳しい状況に陥りましたが、行政のお力添えもいただき何とか立ち直る事ができました。現在は自動車用鑄造部品を主に月産80〜100万台の製品を生産しておりますが、ここまで紆余曲折しながらも続けてこれましたのも、応援してくださる皆さまの温かいご支援のおかげと感謝しております。

弊社は独自工法である「Hプロセス工法」による高精度、高品質の製品作りを武器に他社とのレベルの差を実現してきましたが、今は品質だけで

勝負できる時代ではなくなつてきています。情報のグローバル化により世界中の競合メーカーとの競い合いが始まり、特に近隣アジア諸国との競争は激化しております。今後さらなる発展を図るには、世界と競争できる低コスト化の実現と高スキルな人材育成が急務と考えています。

そのため今年度より新プロジェクトを発足させ、より効率的な生産性を実現させる計画を組んでいます。

このプロジェクトを成功させることが「株式会社会津工場」の生き残り手段と捉え、より強固な企業への発展を目指します。

今後とも、ご指導を、よろしくお願いいたします。

徹底した品質管理

会津工場では、Hプロセス工法の型をつくる金型の製作から、同工法で製造された製品の切削加工、仕上げ、寸法精度の測定、強度試験など、製品が完成するまでの一貫作業を自社で行なっています。

これにより、製品が完成するまでの経過をすべて把握、管理でき製品納品後のトラブルやクレームなどにも迅速に対処、スムーズな問題解決が可能となっています。さらに、一部作業を外注対応する会社と比べ、半分以上の期間で納品できるといふ大きなメリットもあり、他社には真似のできない品質管理システムが会津工場の最大の特徴です。

国内外の

自動車部品を製造

現在、会津工場で製造販売されている製品の種類は約100種類と豊富、そのほとんどが自動車部品で、ターボチャージャー、カーエアコン、マニユアルミッションなどの一部に使用される部品など、用途はさまざまです。納品個数は月産で100万個、国内では全自動車メーカーの販売車に、国外では、フォードやBMW、アウディな

どの販売車に使用されています。

躍進する誘致企業

昭和50年にスタートされた会津工場は、現在、従業員92名で、町内の本社工場と千葉営業所があり、ほかに4社の関連会社と連携を図りながら営業されています。

Hプロセス工法を取り入れ、研究開発を重ね、独自の鑄造工法として量産システムを確立、製品製造の全工程を自社のみで

行い、徹底した製品管理と低コスト化、納期の短縮化に取り組み、高精度な付加価値の高い製品を販売することに成功、今なお、より良質な製品の製造開発に努力を惜しまない会津工場は、中心的な雇用の場として地域経済を支え、若者の定住にも貢献されています。

このように、将来のさらなる躍進が期待される誘致企業「株式会社会津工場」の「鈴木直記代表取締役社長」に思いをお伺いしました。

Hプロセス製品紹介

【素材重量62%減、加工工数大幅低減に成功した事例です】

他社鑄造品
(素材重量3.7kg)



Hプロセス鑄造品
(素材重量1.4kg)



株式会社 会津工場
代表取締役社長
鈴木 直記さん

只見町チーム

順位アツプの力走

第22回ふくしま駅伝



目黒大成さん
(只見中1年)
第8区・5.4km

11月21日に開かれた、第22回ふくしま駅伝で、只見町チームは昨年の総合50位から46位の5時間56分47秒でゴール、町の部でも昨年の28位から26位と、いずれも順位アツプの力走を見せました。競技は白河市総合運動公園陸上競技場から福島市の県庁前までの16区間、96・2キロメートルのコースで健脚が競われました。只見ランナーズが駅伝事務局となり参加している只見町チームは、ナンバーカード29、今年も中学生や高校生が中心のフレッシュなメンバー構成で大会に臨み、16人全選手が全力を振り絞り走りきりました。この大会に初めて参加された最年少の只見中1年「目黒大成さん」に感想を聞いてみました。

今回は、ふくしま駅伝に初めて参加しました。結果は、区間44位で、とてもくやしい順位でしたが、只見町チームの順位をキープできて良かったです。

次は、区間30位を目標として頑張っていきたいと思います。

また来年も皆さんの応援をよろしくお願いします。

秋の福島路を
ナンバーカード
29
がかけぬけた！





◆一般会計（歳入）

（単位：円、％）

款	款名称	予算額	収入済額	収入率
1	町 税	940,165,000	508,952,722	54.13
2	地方譲与税	67,500,000	21,736,024	32.20
3	利子割交付金	1,000,000	561,000	56.10
4	配当割交付金	200,000	129,000	64.50
5	株式等譲渡所得割交付金	1,000	0	0.00
6	地方消費税交付金	40,000,000	26,999,000	67.50
7	自動車取得税交付金	15,601,000	5,091,000	32.63
8	地方特例交付金	12,599,000	12,599,000	100.00
9	地方交付税	2,255,073,000	1,657,252,000	73.49
10	交通安全対策特別交付金	1,000,000	597,000	59.70
11	分担金及び負担金	24,731,000	7,970,382	32.23
12	使用料及び手数料	30,443,000	14,945,977	49.09
13	国庫支出金	118,088,000	36,378,581	30.81
14	県支出金	346,835,000	20,683,791	5.96
15	財産収入	22,049,000	7,755,124	35.17
16	寄附金	3,002,000	2,329,500	77.60
17	繰入金	40,632,000	23,000,000	56.61
18	繰越金	51,162,000	51,162,375	100.00
19	諸収入	39,162,000	8,272,231	21.12
20	町債	396,700,000	0	0.00
	合計	4,405,943,000	2,406,414,707	54.62

◆一般会計（歳出）

（単位：円、％）

款	款名称	予算額	支出済額	執行率
1	議会費	62,101,000	29,864,346	48.09
2	総務費	926,189,000	248,180,903	26.80
3	民生費	584,845,000	146,292,074	25.01
4	衛生費	405,536,000	120,747,833	29.77
5	労働費	10,013,000	1,143,570	11.42
6	農林水産業費	437,825,000	77,105,963	17.61
7	商工費	287,493,000	83,071,938	28.90
8	土木費	248,193,000	47,555,234	19.16
9	消防費	190,017,000	126,268,862	66.45
10	教育費	447,055,000	183,307,573	41.00
11	災害復旧費	1,050,000	0	0.00
12	公債費	693,320,000	302,976,275	43.70
13	予備費	112,306,000	0	0.00
	合計	4,405,943,000	1,366,514,571	31.02

◆特別会計

（単位：円、％）

	会計名	予算額	歳入		歳出	
			収入済額	収入率	支出済額	執行率
1	国民健康保険事業	580,727,000	222,839,480	38.37	248,079,022	42.72
2	国民健康保険施設	412,767,000	88,940,670	21.55	181,060,672	43.87
3	老人保健	1,020,000	30,385	2.98	49,129	4.82
4	後期高齢者医療	121,638,000	12,437,100	10.22	45,032,597	37.02
5	介護保険事業	559,834,000	248,799,972	44.44	214,529,616	38.32
6	介護老人保健施設	236,920,000	73,688,408	31.10	118,112,088	49.85
7	訪問看護ステーション	22,000,000	3,485,203	15.84	9,935,114	45.16
8	地域包括支援センター	10,000,000	1,045,400	10.45	4,627,265	46.27
9	簡易水道	128,594,000	32,360,050	25.16	57,944,657	45.06
10	観光施設事業	38,375,000	0	0.00	8,245,178	21.49
11	交流施設	54,736,000	0	0.00	39,913,305	72.92
12	集落排水事業	272,000,000	33,457,125	12.30	119,554,039	43.95
13	朝日財産区	12,800,000	8,680,887	67.82	117,500	0.92
	合計	2,451,411,000	725,764,680	29.61	1,047,200,182	42.72

町の財政事情がどのような状況にあるのかを理解していただくために、平成22年度上半期（4月1日～9月30日）の予算の執行状況をお知らせします。

平成22年度一般会計当初予算は、現年度予算40億2,100万円です。スタートしましたが、2回の補正で44億5,944万3千円になりました。この他に前年度から繰り越した予算が6億1,704万3千円ありますので、総額50億2,298万6千円となっています。

歳入のうち地方交付税を平成21年度と比較してみますと、普通交付税（7月に交付額算定）

が22億5,077万3千円となり、前年度対比1億2,718万2千円の増となったものの、特別交付税（平成23年3月に交付額決定）は、前年対比での減額が見込まれています。（平成22年度普通交付税は、国補正予算により、2,862万9千円程度の増額となる見込みです）

（※地方交付税は、「普通交付税」と「特別交付税」の2種類に分かれています。）

主な事業内容は、本庁舎等電話設備改修事業 1,120万円、新多目的交通システム運営補助金（雪んこタクシー） 1,893万円、子ども手当支給事

業 6,032万円、西部環境衛生組合負担金 9,464万円、合併浄化槽設置補助金 3,460万円、八乙女給水施設整備事業 1,443万円、コミュニティビジネスモデル支援事業 1,000万円、中山間地域等直接支払事業 2,108万円、県営ただみ西中山間地域総合整備事業負担金 2,723万円、道路整備交付金事業（林道整備） 2,603万円、広域圏消防費負担金 1億3,6

25万円、七十蒔遺跡発掘調査事業 2,183万円、町下野球場改修事業 1億1,758万円、などです。

歳入の収入済額は9月までに実際に収入となった金額で、歳出の支出済額は実際に支出した金額です。

これは、只見町財政状況等の公表に関する条例による公表です。

只見町のブナ林の未来を探る
ユネスコ・エコパーク講演会

只見町のブナ林とユネスコ・エコパークの可能性をテーマに、ユネスコ・エコパーク講演会が10月31日に明和地区センターで開かれ、約70名が聴講されました。講演は3名の講師により行われ、はじめに独立行政法人森林総合研究所の鈴木和次郎氏が只見のブナ林の魅力について、次に町ブナセンター主任指導員の新国勇氏が只見の森と人々の暮らしと題し講演されたあと、横浜国立大学准教授の酒井暁子氏がユネスコ・エコパークについてスクリーンを使用し説明されました。

ユネスコ・エコパークとは生物圏保存地域のことです。陸上・沿岸・海洋生態系の保護区となり、生物多様性の保全と人間生活の調和や、地域社会の持続的発展を実現する場として位置づけられ、様々な自然保護活動などが展開されます。現在、世界で109カ国(564カ所)が指定地域となつています。

講師の酒井准教授は、只見のブナ林は大変すばらしく、指定の条件はほぼ満たしていると笑顔で話されました。



▲ユネスコ・エコパークについて学ぶ参加者

地域の子育て力の向上を目指して
子育て支援講演会

講師に本郷幼稚園(会津美里町)の元園長で会津美里町教育委員の鶴賀イチさんを迎え、「かつて子どもだった大人たちへ、やがて大人になる子どもたちへ」をテーマに、子育て支援講演会が11月9日、季の郷湯らりなどで開かれ、子育て中のお母さんなど45名が出席されました。

鶴賀さんは、経験談を交え子どもたちが話す言葉には、子どもも考えや思い、願いなどのメ

ッセージが込められており、それについてや、自分の子どものことを思い出して子育てをしてほしいことなどを話され、子どもは未来、子どもを育てることは自分たちの未来を育てること、地域が結集して子育てをし、只見町の将来を考え、子どもたちを育てていくことが大切と講話されました。



▲子育てのポイントなどを講話される鶴賀イチさん

全線開通に期待高まる
八十里越九号トンネル貫通式



▲貫通を喜び目黒町長(右から3人目)

只見町と新潟県三条市をつなぐ国道289号・八十里越道路の九号トンネル(3,173m)が11月7日に貫通し、同日に現地で貫通式が行われ、目黒町長や五十嵐拓町議会議長など関係者が出席しました。

式では目黒町長はじめ関係者が発破ボタンを押し貫通を確認しました。その後、通り初めの儀や鏡開きが行われ、目黒町長の音頭で乾杯し、全線開通への期待を高めました。

貫通点で目黒町長、五十嵐拓町議会議長、国定勇人三条市長らが万歳三唱を行い、記念すべき貫通を祝いました。

九号トンネルは全11あるトンネルのうち最長です。目黒町長は「両県の皆さんが一致団結し行動を起こし、一日も早く全線開通するよう尽くしたい」と思いを話しました。また、通り初めの儀には只見中学生13名も参加、下田中学生と記念撮影をするなど交流を深めました。

百歳賀寿おめでとうございます

皆川コイクさん(長浜)が満百歳



▲賀寿を受ける皆川コイクさん(右)

11月15日、長浜の皆川コイクさんが満百歳の誕生日を迎えられ、同日に知事賀寿贈呈式が介護老人福祉施設只見ホームで行われました。

はじめに小野保順南会津保健福祉事務所長から知事賀寿と記念の木杯が贈られました。続いて、久保副町長、五十嵐拓町議会議長、五十嵐辰男只見町社会福祉協議会長、星素行只見町老人クラブ連合会長、目黒竹市只見第2老人クラブ会長らから記念品などが贈られました。また、孫の馬場有里さん、渡部茂孝只見ホーム園長がお祝いの花束を手渡しました。コイクさんの長生きの秘訣は、好き嫌いなく食べること。とのことでした。

ノルディックウォークin
ただみ(健康な歩き方教室)
が11月16日、ただみ・ブナ
と川のミュージアムや青少
年旅行村いこいの森周辺を
会場に開かれ、10名が参加
しました。

参加者は、講師の指導を
受けた後、ブナと川のミュ
ージアムをスタート、青少
年旅行村いこいの森を回る
約2・5kmのコースを30分
から40分かけて歩き、ノル
ディックウォークを体験、
さわやかな汗を流していま

した。ダイエット効果もあると
いうことです。



▲気軽に汗を流せるノルディックウォーク

ストックを使って気軽にウォーキング
ノルディックウォークinただみ

元気な歌声に、迫力の演奏

只見町小中学校音楽祭

11月12日に只見中学校体育館
で行われた「只見町小中学校音
楽祭」には、只見小3・4年生、
明和小3・4年生、朝日小3・4
5年生と只見中全校生徒が参
加、小学校は合唱と合奏を披露
し、中学校は全校生徒と特設合
唱部の合唱を披露しました。元
気に楽しく歌う小学生、迫力あ

る演奏で楽器を奏でる合奏、そ
して清らかで透き通るようにピ
ュアな歌声が響き渡った中学生
の合唱、いずれも完成度の高い
合唱と合奏の連続に、来場され
た保護者らからは感動と同時に
大きな拍手が送られていまし
た。練習の成果がすべて発揮さ
れたすばらしい音楽祭でした。



▲うつくしい歌声を響かせた只見中特設合唱部の女声合唱

【東京都民が只見で農業体験】 秋野菜の収穫作業



収穫した野菜を手に笑顔の参加者▶



▲とれたて野菜を思わず「ガブリ」

東京都内在住の7名の方々が、11月17日に、大倉地区の約3・5アールの畑で秋野菜の収穫作業を体験しました。この事業は大倉区が福島県地域づくり総合支援事業の補助を受け行われたもので、8月18日に行なった種まきから始まり、10月5日には除草作業を行ないました。参加者は、ハクサイやダイコン、カブなど計8種の秋野菜を地元農家の方のアドバイスを受けながら収穫、慣れない作業に汗を流していました。収穫したばかりのダイコンをその場で味わった参加者は「甘くておいしい」と感想を話しました。この取り組みは来年も行われる予定です。

【第39回只見ふるさと雪まつり】 第1回実行委員会

11月18日、只見地区センターで、第39回只見ふるさと雪まつり第1回実行委員会が開かれました。

実行委員長の目黒町長は、あいさつで「今日まで企画実行委員会を3回開催し、まつり内容も煮詰まったと思います。これから降雪の時期になります。す

ばらしい雪まつりを実施していきたいと思います」と述べました。今年の大雪像は「タージ・マハル」で、雪まつりキャッチフレーズは「あなたに会える雪まつり」です。このキャッチフレーズは町民に公募し、石津伸介さん（楢戸）の作品が企画実行委員会で選ばれ決定しました。

只見の巻物が国立博物館に展示

只見町が日本一の、巻物の多い町であることは有名です。この度、千葉県佐倉市にある国立歴史民俗博物館の民俗展示室に只見町の巻物のレプリカ（複製品）が常設展示されることになりました。展示予定の巻物は、蒲生・五十嵐崇家の番匠巻物と新町・新国志摩夫家の屋根屋の巻物の二点です。

ここでは今年から現代展示室で田子倉集落の模型が展示されていますが、今回の巻物は平成25年3月の改装時に展示されるということです。担当の同館・小池淳一准教授は「日本の職人文化の伝統を継承する重要な資料として展示したい」と話しておられます。



▲巻物の撮影を指導する小池先生

親子料理教室

10月7日に只見保育所で、19日に明和保育所で、20日には朝日保育所で、親子料理教室が開かれ、保育所で収穫された野菜を使い「さつまいもとしめじの秋カレー」を親子で作りました。また、すべての食材には「いのち」があり、そのことに感謝の気持ち忘れずに食べるといふ食の大切さや命の大切さについても学びました。



▲おいしいカレーができるかな？



▲あいさつをする目黒町長

こんにちは！ 保健師です

知っていますか？ 糖尿病

保健師 渡部 由香里



みなさん、こんにちは。今年4月から只見町で保健師としてお世話になっております。私の出身は隣り町の南会津町（旧南郷村）ですが、昔からたまに遊びに来たり、温泉に入りに来たり、買い物に来たりしていたので、只見はとても親近感があり自分の町のように愛着を感じます。住民のみなさんと接していて感じることは、やはり人のあたたかさです。近隣・地域とのつながりが希薄になり様々な問題が現れてきている現代、昔ながらの近所付き合いが残り、地区や町をあげての活動も多く残る只見町は本当に素晴らしい町だと思えます。そして、浅草岳のように大きな心で接してください。みなさんに、新人の私は日々救われ、恩返しをしなければと感じている今日この頃です。

- ・のどが渇く
- ・からだがだるい

さて、糖尿病という病気をご存知でしょうか？今や知らない方のほうが少なく、身近な病気になってきている糖尿病ですが、その本当の姿は意外と知られていないように感じます。みなさんは、糖尿病と聞くことどのような症状が思い浮かびますか？

- ・甘いものを欲する
 - ・おしっこ多量
 - ・尿に泡が立つ
- これらは、一般的によく聞く糖尿病の症状ですね。では、次の症状はどうでしょう？
- ・物が見えづらい
 - ・ぼんやり見える
 - ・胃の調子が悪い
 - ・下痢と便秘をくり返す
 - ・冷える、ほてる、異常に汗をかく
 - ・疲れていないのに足がつる
 - ・手足のしびれ
 - ・足の感覚の違和感
 - ・手足がむくむ
 - ・尿にたんぱくが出る
 - ・胸痛
 - ・ろれつが回らない、めまい
 - ・物忘れ

なりかねません。また、糖尿病は費用がかかる病気でもあり、これらの治療で入院が必要になると、人口透析・500万円、下肢切断・100万円、網膜症・100万円（1回の費用）もの費用が必要になるとも言われています。

このような重症にならないためには、血糖値に少しの異常が出た時点でいかに早く気づき、いかに早く治療を始めるかがとても大切です。治療と聞くとまず、「薬を飲む」というイメージが強いかもしれませんが、糖尿病の治療の第一段階は食事と運動です。普段からバランスのよい食事をとるように心がけ、意識的に運動をすることはもちろんですが、血糖値に異常が見つかった時点で食生活と運動習慣の改善ができれば、糖尿病の悪化を防ぐことができます。また、血糖値は血液検査でわかります。血液検査は健康診断のときに受けることができます。

みなさんの血糖値はどのくらいですか？自分の血糖値を知り、糖尿病を早期に発見するためにも、まずは健康診断を受けましょう。

糖尿病をはじめとする生活習慣病になることなく、元気で長生きしたいものです。

正しい食事と適度な運動を
心がけましょう！





朝日保育所(11月18日)

じょうぶに
かわいく
名演技♪

保育所

お

ゆう

ぎ

か

い



明和保育所(11月19日)



只見保育所(11月26日)



▲丁寧に作業される只見地区牧野組合の皆さん

雪 只見地区牧野組合・冬囲いボランティア
の重みから低木をしっかり守る

只見地区牧野組合の鈴木侃二さん、目黒芳雄さん、酒井三男さん、佐藤正一さんの4名と、学校の近くに在住の関谷又一さんが、只見小学校の校庭周辺に植えられている低木などの冬囲い（雪囲い）を11月6日にボランティアで作業されました。慣れた手つきで作業は順調に行われ、がっちりとした冬囲いが完成、先生方も感謝の気持ちを表されました。

歌 第28回ふるさと演芸会
や踊りで楽しいひととき

地元の愛好者が歌や踊りを通して親睦を深める第28回ふるさと演芸会が、11月21日に朝日地区センターで開かれ、約100名が来場されました。演芸会では約30名の出演者が20曲以上の演目で次々に歌や舞踊を披露、うつくしい歌声や艶やかな舞に、詰めかけた来場者は歓声とともに大きな拍手を送り、楽しいひとときを過ごしました。

▼練習の成果を披露する出演者



柏 第2回森林のふれあいコンサート 市の声楽家「羽鳥典子さん」出演

10月31日に森林の分校ふざわで開かれた「第2回森林のふれあいコンサート」に、柏市在住のメゾソプラノ歌手「羽鳥典子さん」が出演されました。当日は、柏市在住の早苗裕子さんのピアノ伴奏などで「アヴェマリア」や「オンブラマイフ」など6曲を披露、プロの声楽家のうつくしい歌声が響きわたりました。また、チェンバロ奏者の沼尾美和子さんと地元の音楽愛好グループの皆さんなどが交流を深めました。



▲清らかな歌声を披露する羽鳥典子さん(左)

明 福島県小学生バレーボール選手権大会・会津大会 和スポーツ少年団が優勝！



▲優勝の明和スポーツ少年団と準優勝の朝日スポーツ少年団(右下)

第33回福島県小学生バレーボール選手権大会・会津大会は11月13日と14日に会津美里町で行われ、女子は22チームが参加、熱戦が繰り広げられるなか、順調に勝ち進んだ明和スポーツ少年団が第1位に輝きました。チーム一丸となりメンバー一人一人が実力を発揮された結果と思います。おめでとうございます。そして、準優勝は朝日スポーツ少年団と只見町の強さが際立った大会となりました。

只 第19回只見新そばまつり 見の新米や野菜もプレゼント

今年の採れたて新そばを味わう第19回只見新そばまつりが11月13日、只見地区センターで開かれ、町内外から140名以上が参加、賑わいを見せました。採れたて、打ちたて、ゆでたての新そば食べ放題に加え、団子汁や山菜盛合わせ、地酒なども味わうことができ、参加者は心ゆくまで秋の味覚を堪能していました。抽選会では地酒や野菜、只見産新米などがプレゼントされ、盛り上がりました。



▲新そばのおいしさを実感した参加者

効 第1回ヘルシークラブ(健康教室) 率的なエネルギー消費で理想の体形に



▲ステップウェルを使った運動を体験する参加者

目標体重に近づくために必要な運動量などを学ぶ第1回ヘルシークラブ(健康教室)が11月24日に保健福祉センターで開かれました。参加者は、健診結果から生活習慣を見直し、食生活の改善や食品に含まれる栄養素から考えるバランス食などについて学びながら、ステップウェルを使った運動も行いエネルギーの消費量を確認していました。この教室は今後2回行われる予定です。



先生のLife in JAPAN Vol.2

■ Anna・George
1987年生まれ。英国ノーフォーク出身。
2010年8月から只見町英語指導助手。
小学校と中学校で語学の指導を行います。

11月は、私にとって、とても忙しい日々でした。もうすぐ12月なんて信じられない！この時期、私はクリスマスが大好きなので、楽しみです。クリスマスに向けて、我が家では飾り付けをしたり、クリスマスミュージックをかけたり、家族へのプレゼントを購入したりしました。クリスマスはイングランドに戻り、家族と過ごす予定です。妹も日本語を勉強しているので、日本からのプレゼントできっと大喜びするでしょう。

今月、須賀川の松明あかしに行ってきました。それはもう、すごかったです！今までそのよなお祭りを見たことがなかつたので、本当にわくわくしました。お祭りでは、大きな松明を丘まで持っていく、火をつけます。燃えている松明にあんなにも近づけることにびっくりしました。楽しく時間を過ごせ、写真もたくさん撮りました。多くのALTが東北各地から見に来ていました。

今月は東京にも行きました。築地の魚市場に行ってきました。お寿司が大好きなので、日本に来てから、ずっと築地を訪れてみたいと思っていました。たくさんお寿司を食べ、イングランドではあまり食べないような魚にも挑戦しました。

日本食が大好きなので、只見中学生のそば打ち体験に参加させてもらって、とても楽しかったです。イングランドで以前、そばの食べ方をテレビで見たのですが、今回が初めての経験でした。そば打ちはとても興味深く、できたてのそばは最高においしかったです。

最近、早く雪が降らないかなあと思っています。東京はまだまだ暖かいことに驚きました。福島は東京からそんなに遠くないのに、ここまでも気温が違うことに驚きです！

(訳・只見中・福地)

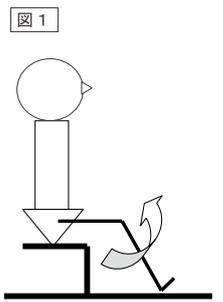
広報ただみ診療所

朝日診療所 医師 高柳 宏史

「ひざが痛い人へ」

だんだん寒くなりましたね。風邪やインフルエンザも流行ってきています。住民全員で予防に努めて乗り切りましょう！手洗いなどは30秒以上かけて石鹸を使って洗い、1日10回以上を目標にされる方がいいと思います。よろしくお願ひします。

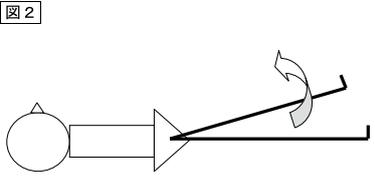
さて、寒くなってくると足腰が痛くなりますよね。特に診療所にこられる方には長年の山や田畑の仕事で足腰を悪くされている方が多くいらっしゃいます。年配の方によくある膝の病気に変形性膝関節症という病気があります。正座など膝を長時間曲げていた後や、階段の上り下りで痛みがでるといふ症状が特徴です。「膝の軟骨が減っていますね」といわれた事がありませんか？そう、軟骨が減って膝が痛くなる病気が変形性膝関節症と考へてもらっていると思います。そんな方にお勧めの自宅でするそんな膝の痛みを改善する運動について紹介しようと思います。



椅子に座り、片足ずつ膝を伸ばす

やり方は簡単です。「椅子に座って、片足を伸ばすだけです。(図1)」そのほかにも横になった状態でできるトレーニングの方法も紹介しますので試してみてください。(図2)

伸ばしたままの姿勢で保つのもいいですし、曲げたり伸ばしたりを繰り返しても効果があります。片足が疲れたら、反対の足もトレーニングしましょう。徐々に慣れてきたら、時間を延ばす、回数を増やす、もしくは足首におもりをつけてするのもいいと思います。この運動により、太ももの大腿四頭筋という筋肉を鍛えることができます。また歩行



片足ずつ膝を伸ばして脚をあげる

冬は雪が深いため屋外で体を動かすのは難しくなりますが、それならば家の中で足腰を鍛えて、来年に備えてみるのはいかがでしょうか？

町史

つとておきの話

197

神奈川大学非文字資料研究センター協力研究者

ルシーニュ・フレデリック



を「只見町の風景」コーナーの中に導入してみました。それは小林地区の梁取源左衛門さんをインタビュアした映像です。こ

2010年7月17日、東京大学で行われた文化資源学会で、只見町インターネット・エコミュージアムについて発表してきました。演題は「文化財の情報発信——只見町インターネット・エコミュージアムを事例に

れからも只見町の方々の人生を記録した文章、写真、映像、録音などの資料をもっと発信できれば、只見が近代化していく過程を面白く分かりやすく提示できるものと期待しています。しかし、この取り組みは、エコミュージアムの展示内容を充実させるというだけではありません。前回述べたように、エコミュージアムとして住民との連携は不可欠な条件ですから、さまざまな人生記録資料を提示・発信していくことは、展示内容を充実させることに留まらず、「参加型」ミュージアムとして

学の研究者の特権的な関心事にしないで、町民の皆さまと一緒に共有して考えていきたいものです。すこし抽象的な話になってきたので、ここで神奈川大学大学院生による調査報告書『大倉の民俗』（2008年3月）から二つの具体的な事例を挙げてみたいと思います。

「——」というもので、神奈川大学大学院の小松大介さんとの共同報告でした。会場からは、さまざまな質問や指摘を受けました。そのなかで特に考えさせられたのは、次のようなコメントです。この只見インターネット・エコミュージアムは、民俗学の研究方法や視点に偏らずに社会学など他の研究分野の方法も導入するべきではないかという意見でした。実際にこの問題については、私たちが前から意識してきたものです。そこで、民俗の領域を広げるもう一つの取り組みとして、神奈川大学の中村政則先生が2006年2月4日に行ったライブ・ヒストリーの手法を取り入れた聞き取り調査

質的に向上していくことが最も望ましい発展です。生業や年中行事など民俗学プロパターの典型的な関心事に限らず、常に開かれた視点をもって「参加型」ミュージアムの性格を維持していくべきだと思います。研究手法や博物館の方針においては、もちろんいろいろな難点があります。しかし、可能ならば、大

少年時代を大倉で過ごした昭和19年生まれの子供は、子供の頃いつも男だけでいろいろないたずらをして「新撰組の真似をして遊んでいた」と語ってくださいました。その新撰組の真似ごっこは年上の子が近藤勇の主役を演じ、年齢的に二番目の子供が土方の役をやっていたらしいのですが、戦争が終わって米国の影響により新撰組のような遊び方は暴力的だとして止めらせられました。つまり「戦争ごっこはやめろ」という社会的なムードがあったのです。また、Nさんは、幼い頃、子供たちのグループの親分として「アンニャ」（あにき）と呼ばれたSさんの提案で、大倉で早乙女踊りを復活しようという計画に参

加されたそうです。旧暦の正月、踊りの練習をちゃんとしたうえで、手元にあったプラスチックのビョッコト面や笠などを被り、袋を持って、5、6件の家を回ったそうです。家の人から砂糖入りの湯をご馳走になり、お菓子やイナボ（稲の穂）餅、団子を食べきれないほどたくさんもらったので、後でどこかの家で囲炉裏を囲んで餅を焼いて食べたということです。つまり、大成功だったわけですが、早乙女踊りをしたことが学校に知られてしまい、先生に「乞食のような行為はだめだ」と叱られました。それ以降、大倉で早乙女踊りをする人は一度と現れなかったという話を伺いました。

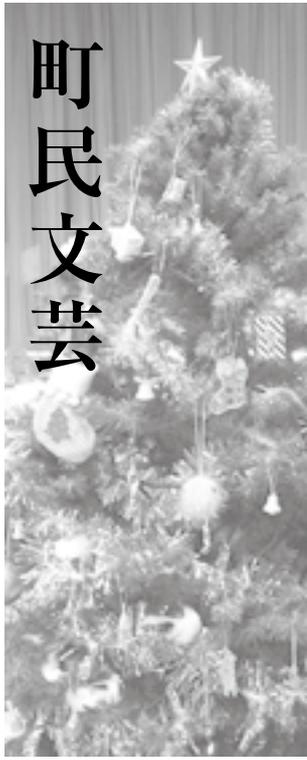


◀伝統の小林早乙女踊り

この二つの話は、「戦争ごっこはだめ」や「ものをもらうのはだめ」という当時の価値観が強く反映した出来事ですが、その時代性がリアルな形で現れている事例として、とても興味深いと思います。このような体験を民具や行事と関連してエコミュージアムのなかに導入できれば、社会の変遷がより鮮やかに見えてくるでしょう。

この二つの話は、「戦争ごっこはだめ」や「ものをもらうのはだめ」という当時の価値観が強く反映した出来事ですが、その時代性がリアルな形で現れている事例として、とても興味深いと思います。このような体験を民具や行事と関連してエコミュージアムのなかに導入できれば、社会の変遷がより鮮やかに見えてくるでしょう。

町民文芸



只見短歌会

十月詠草

大塚栄一 指導

わが庭の金木犀が遠くまで匂ふと人ら声かけくるる
古川 英子

孫の婚儀に二世も共に披露なし祝ひ重なり式場華やぐ
吉津 政枝

木の陰のわれに気付かず手入れせぬ松をそしりて知り人帰る
皆川 恒子

亡き夫に松茸ご飯と思へども熊が出るとふ山には行けず
五十嵐 英子

休耕田に雑草繁り秋風に揺るるを農婦のわれは哀しむ
馬場 八智

異状気象か実入り揃はぬ豆小豆の青きを残し乾びしを抜く
渡部 ゆき子

師のけなす言葉に夫人は微笑みて歌会の我らを和ませくるる
五十嵐 夏美

とぼとぼと歩み続けし夫婦道八十過ぎて振り返りみつ
齊藤 ちひろ

近山に雪降りたれば合図のごと家の周りを人等は片す
目黒 富子

残飯を畑に捨てれば野良猫は豆木の陰で我が去るを待つ
渡部 ヨリ子

鉢棚のくちなし二つ返り咲き秋深まりし裏庭に映ゆ
新国 洋子

(出詠順)

只見俳句会

十一月例会

目黒十一 指導

コスモスや久しき友の訪ね来て
康 女

いつの間に長湯となりし秋の雨
一穂

秋茄子や艶を落として笊の中
洋子

秋冷やぬか焼く煙ゆれもせず
敦子

照り栄えて葡萄紅葉の昇りゆく
礼

むずかしき事もなく散る柿落葉
礼

夕暮るる小学校や鳥渡る
修一

熊出ると広報無線告げる秋
修一

溝蕎麦や小堀めぐらすからむし館
一灯

湧き水に手の平浸す草紅葉
一灯

萩の花落ち尽したる阿弥陀堂
一灯

葉を刻みいるや厨の夕ちちろ
又壺歩

講義録曝し若さの蘇り
邦男

介護弁当昼にいただき薄紅葉
恒夫

水道の水漏れ探す秋の空
恒夫

放たれし鶏の一步や冬に入る
吉児

立冬や一人しずかに誕生日
吉児

老体の夜半に覚めて冬の雷
隆堂

捨てのまま山路をふさぐ月夜茸
隆堂

大舞茸柴ねじかけて荷送りす
笑羊

爽涼や握手で終わる延長戦
笑羊

突っ掛けの足湿りおり星月夜
笑羊

赤南瓜ひとり昼餉を豊にす
笑羊

一山を越えれば越後ひつじ田に
笑羊

里芋の百株を掘る大仕事
笑羊

笑羊

笑羊

笑羊

笑羊

笑羊

笑羊

笑羊

笑羊

今月のお知らせ

電話番号

総務企画課	
総務班	☎ 82-5050
	☎ 82-5210
	☎ 82-5220
企画班	
町民生活課	
税務班	☎ 82-5110
町民班	☎ 82-5100
保健福祉課	
保健班	☎ 84-7005
福祉班	☎ 84-7010
産業振興課	
農林班	☎ 82-5230
交流推進班	☎ 82-5240
環境整備課	
地域整備班	☎ 82-5270
生活環境班	☎ 82-5280
会計室	☎ 82-5120
議会事務局	☎ 82-5300
農業委員会	☎ 82-5230
教育委員会	☎ 82-5320
学校給食センター	☎ 84-7180
只見保育所	☎ 82-2219
朝日保育所	☎ 84-2038
明和保育所	☎ 86-2249
朝日診療所	☎ 84-2221
(歯科)	☎ 84-2612
訪問看護ステーション	☎ 84-2130
	☎ 84-2101
こぶし苑	☎ 84-7005
保健福祉センター	☎ 82-2141
只見地区センター	☎ 84-2111
朝日地区センター	☎ 84-2111
明和地区センター	☎ 86-2111

税 今月の納期

- 12月27日までに納めましょう
- 国民健康保険税(6期)
 - 水道使用料(3期)
 - 農集排使用料(12月分)
 - 介護保険料(6期)
 - 後期高齢者医療保険料(5期)

RECRUITMENT

募集

平成23年度

只見町奨学生

優秀な人材を育成するため、無利子で奨学資金をお貸しします。希望者は、次の事項に留意され、お申し込みください。

●対象及び条件

- ▽平成23年度に高等学校・短期大学・大学又は各種学校に進学を希望している方で、品行が正しく、学術に優れ、身体強健であること。
- ▽貸与を希望される方が、只見町に本籍又は住所が引き続き6ヵ月以上有すること。

●利用可能貸与額

- ▽高等学校 月額12,000円以内

▽私立大学

- 月額40,000円以内
- ▽国立公立大学・短期大学及び各種学校 月額30,000円以内

▽支度金(4年制大学に限る)

- 大学入学時 300,000円以内

●奨学資金の返還

奨学生は、卒業もしくは退学・奨学金辞退等の月より6ヵ月の返還準備期間をおき、7ヵ月目から8年以内に月賦で返還していただきます。

●申込手続

教育委員会・各地区センター・只見中学校・只見高校・南会津高校・町内郵便局・東邦銀行只見支店・J.A会津みなみ只見支店にある「願書」に必要事項を記入し、在学校に「推薦書」を作成・交付していただいた上で、家族全員の所得証明書及び住民票(世帯票)を添え、願書等の交付の際に同封される「募集のしおり」の注意事項を厳守の上、

教育委員会事務局に提出してください。

●募集受付期間

2月18日(金)まで

●奨学生の採用決定

教育委員会で決定し本人に通知します。通知は、3月中旬頃になります。

▼問い合わせ

教育委員会事務局 学校教育班 ☎ 0241-8215320

保健師等をめぐる 奨学生

只見町では、将来、町の施設で業務に従事しようとして、次のような職種をめざす方に対して奨学資金を貸与します。

●対象となる職種・条件

保健師、助産師、看護師、放射線技師、理学療法士、作業療法士

※法に基づき指定された前項の職種の養成施設に在学または在所し、国または他の団体か

ら同種類の奨学資金の貸与を受けていない方

●貸与額 月額10万円以内

●奨学資金の返還及び免除規定

奨学資金貸与条例により
▽原則として10年以内に返還。

▽ただし、資格取得後直ちに町の機関に就職し、その後引き続き10年以上当該業務に従事したときは返還の債務が免除されます。

●申し込み手続

奨学資金貸与申請書に住民票抄本・履歴書・健康診断書等を添えて保健福祉課に提出してください。

●出願期間

▽4月生普通科 平成23年2月1日～4月20日

▽コミュニケーション・ボランティア専攻 平成23年2月1日～3月22日

▼問い合わせ

NHK学園 ☎ 042-572-3151
案内書請求フリーダイヤル ☎ 0120-06-8881

平成23年度

NHK学園生徒

NHK学園では、次のとおり生徒を募集しています。まずは、無料の案内書をご請求ください。

●募集内容

▽高等学校 4月生普通科(3年制)

▽高等学校 専攻科社会福祉コース コミュニティ・ボランティア専攻

●出願期間

▽4月生普通科

平成23年2月1日～4月20日

▽コミュニケーション・ボランティア専攻

平成23年2月1日～3月22日

▼問い合わせ

NHK学園 ☎ 042-572-3151
案内書請求フリーダイヤル ☎ 0120-06-8881

生活

平成23年度 保育所入所児童申込み受付開始

次により、平成23年度の保育所入所児童の申し込みを受け付けます。入所を希望される場合は期間内にお申し込みください。

●入所基準

平成23年4月1日現在で満1歳以上の児童で、保護者が仕事などをしていないために保育ができない児童

●募集定員

- ▽只見保育所 60名
- ▽朝日保育所 60名
- ▽明和保育所 60名

●受付期間

平成22年12月1日(水)～12月28日(火)まで

※時間は、午前8時30分から午後5時までで、土曜日、日曜日、祝祭日は除きます。ただし各保育所では土曜日の午前中も受け付けます。

●受付場所

- ▽保健福祉センター
- ▽只見町役場窓口
- ▽只見・朝日・明和保育所
- ▽朝日・明和地区センター

●申込書類

※受付場所に用意してあります。

▽保育所入所申込書
▽保育申告書
●その他
以前、提出された入所申込書の「保育の実施を希望する期間」が平成23年度も申し込まれている場合、今回は保育申告書のみ提出ください。また、平成22年12月現在退所されている児童は申込書が必要となります。

▼問い合わせ

保健福祉課福祉班
☎0241-84-7010

正しい操作で 安全除雪

毎年、雪のシーズンになると除雪機による事故が多発しています。除雪機を使う際には、次の点に注意して操作しましょう。

- ▽作業を行う前に必ず取扱説明書をよく読んで、正しい使い方を理解しましょう。
- ▽雪詰まりを取り除くときは必ずエンジン停止し、回転部が完全に停止してから雪かき棒を使って行いましょう。
- ▽回転部に近づくときは必ずエンジン停止し、回転部が完全に停止してから作業を行いましょう。

▽発進時は、転倒したり、挟まれたりしないよう、足もとや後方の障害物には十分注意しましょう。

町長室日誌〈11月分〉

- 1日 西部環境衛生組合職員辞令交付、県道小林館の川線要望活動のため南会津建設事務所及び県庁へ
- 2日 湯ら里役員会
- 3日 只見町文化祭開会式、料理コンテスト表彰式、柏市ふるさと交流協会会長、副会長及び事務局長表敬訪問に来庁
- 4日 9月定例議会11月第1回会議、福島県市町村教育委員会連絡協議会南会津支会定例会懇親会
- 5日 南会津地方振興局長来庁、南会津地方広域消防本部消防長及び総務係長来庁
- 6日 柏市永楽台地域ふるさと協議会視察研修に来町の折歓迎の挨拶
- 7日 国道289号線9号トンネル貫通式
- 8日 朝礼、定例庁議、町政懇談会(朝日地区)
- 9日 戦没者追悼式、福島県立医科大学津医療センター準備室教授就任祝賀会
- 10日 県道小林館の川線現地立会、東邦情報システム取締役会長来庁、地域計画審議会、ふくしま駅伝結団式及び壮行会
- 11日 作業療法士職員採用候補者試験、会津ただみ振興公社社内会議、町政懇談会(只見地区)
- 12日 観光まちづくり協合理事会、東北電力若松支社長来庁、ふるさと大使懇談会
- 13日 歴史街道「吉尾峠を歩く集い」
- 14日 南会津地方広域市町村圏組合職員採用候補者試験
- 15日 南会津地方広域市町村圏組合管理者会、南会津地方町村会町村長会、福島県労働組合総連合議長及び会津地方労働組合総連合議長来庁、国道289号(棚倉～下郷)建設促進協議会意見交換会
- 16日 町政懇談会(明和地区)
- 17日 南会津建設事務所事業調整会議
- 18日 雪まつり実行委員会、福島県議会「県民連合」移動政調会、野鳥の会南会津支部来庁
- 19日 只見金山昭和県道改修促進期成同盟会県要望
- 21日 ふくしま駅伝参加者慰労会及び町旗返還
- 24日 福島県町村会役員会及び県知事との懇談会
- 25日 9月定例議会11月第2回会議
- 26日 南会津地方広域市町村圏組合臨時議会、西部環境衛生組合協議会臨時会
- 28日 ふるさと只見の集い
- 29日 東邦銀行業況説明会
- 30日 奥会津元気回復協議会事務局長来庁、Jパワー来庁、予算査定

多重債務相談 窓の案内

福島財務事務所では、改正貸金業法に関するお問い合わせや、

▽除雪作業中は、雪を飛ばす方向に人や車や建物がないことを確認しましょう。また、除雪機の周りには絶対に人を近づけないようにしましょう。

●問い合わせ
社団法人日本農業機械工業会
☎03-3433-0415

借金を抱えお悩みの方々からの相談に応じています。借金問題はさまざまな方法で解決できます。お気軽にご相談ください。

●相談窓口
福島市松木町13-2
財務省 東北財務局
福島財務事務所

●受付時間

月曜日～金曜日

午前8時30分～午後5時15分

▼問い合わせ

☎024-533-0064

名誉町民・皆川雅舟氏 「米寿記念作品集」

▼米寿記念作品集



只見町名誉町民で墨雅書道会代表、郡山市在住の書家「皆川雅舟(政一郎)さん」はこのほど米寿を記念して「米寿記念作品集」を発刊、町に寄贈されました。作品集は各地区センターに1部ずつ配置しましたので、書に関心のある方はぜひご覧ください。

町民の消息

(11月1日～11月30日届出分・敬称略)

■お誕生おめでとうございます

加藤美織(女/洋介・知香) 只見
三瓶煌羽(男/和人・未来) 二軒在家
新國峻生(男/誠・ゆかり) 只見
三瓶瑞貴(男/一則・莉沙) 蒲生
根本陸(男/大輔・礼子) 只見
山田あい(女/竜已・あゆみ) 只見

■おくやみ申し上げます

藤田 シケミ	92才	只見	見林
角田 フユ	89才	小荒	島生
星 キヨ子	90才	荒蒲	生戸
五十嵐 魏	80才	蒲生	林小
滝沢 ナミコ	94才	榎小	川島
平山 ヨシエ	93才	小荒	浜取
渡部 キミヨ	87才	小荒	見津
星 ソノエ	81才	小荒	沢谷
松橋 夏司	76才	長梁	井見
菊地 道雄	85才	只入	
阿部 千恵子	50才	叶	
佐藤 明	79才		
矢沢 百子	77才		
目黒 政夫	93才		
堀金 盛雄	87才		
新國 春夫	74才		

※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

人のうごき

平成22年11月1日現在

人口	4, 931 (-12)
男	2, 351 (-6)
女	2, 580 (-6)
世帯数	1, 867 (-3)
高齢化率	41.4%

※高齢化率とは、65歳以上の人々が人口に占める割合です。

転入 11 転出 10 出生 0 死亡 13

▽今年も残り数日となりました。そんな中、朝日地区センターでは、12月5日、ひと足早いクリスマス会が行われ地域の子どもたちが大勢集いにぎやかにゲームなどを楽しみました。この元気な子どもたちが、みんな将来、只見にいてくれたらなんて思っていました。▽ふくしま駅伝に参加された選手、スタッフの皆さん、本当にお疲れさまでした。写真を撮ってください。方々、ありがとうございました。▽今年も皆さんに色々ご協力いただき、ありがとうございました。来年もよろしくお願いたします。

あとがき

まちづくり推進員
渡部 敦子

明和地区センター
図書室 ☎ 86-2111

おすすめ新着図書

★おべんとうの時間



写真/安部了

文/安部直美 (木楽社)

全国各地の手作りのお弁当のフォトエッセイ集。子供の頃から馬が好きで好きで「馬牽き」という職業について女性、この道27年のベテラン海女さん、飼い猫の餌(マグロの刺身!)の残り物で巻いた鉄火巻を持参する大学教授(男性) などなど、多種多様な職種の人々のお腹と心を満たすお弁当はそれぞれ千差万別。エッセイからは家族への愛情と仕事への情熱と誇りが透けて見え、なんだか元気のお裾分けをもらった気分になれます。作者である安部夫妻の丁寧な取材にも好感が持て、人生の豊かさってこういうことだなと感じられる1冊。

★超訳百人一首 うた恋い。



杉田圭/著

(メディアファクトリー)

「小倉百人一首」が編まれた背景と、その中の6首の和歌が詠まれた背景を分かりやすくマンガで表現。コミュニケーションが今とは比べようもなく不自由だった(顔も見ないで恋愛をするような)時代の男女が、ひたすらに想いを伝えようとたった31文字の中に込めた恋心は胸に迫るものが。百首全ての超訳付き。ちょっと日常を離れてみたいとき読んでみては?

★話題の「トイレの神様」、「小惑星探査機はやぶさの大冒険」、一部の子供たちに絶大な人気を誇る「こびとづかん」シリーズ、小説は伊坂幸太郎、桐野夏生、海道尊、伊藤計劃などの著作を購入しました。
★先月から開始した巡回図書は、現在只見地区センターの図書を置いています。こちらもぜひご利用ください。

★図書室に関する要望や購入図書の希望など、お気軽にお寄せください。

町民憲章

- 1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう
- 1、互いに助け合い親切をつくり楽しい町をつくりましょう
- 1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう
- 1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう
- 1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

ノウサギ

哺乳類／

ウサギ目ウサギ科ノウサギ属／野兔

来年の干支は「卯(うさぎ)」です。只見町では、山から里まで、野生のノウサギがたくさん棲んでいます。しかし、夜行性で臆病なので、なかなか目にすることができません。

雪が降り積もった朝、雪面には、ノウサギがあちこちと走りまわった足跡が残っています。ノウサギは、前足を飛び越えるように後ろ足をつくので、進行方向は、大きな後ろ足が前になります。



写真／目黒邦友

特別展示

○只見の民具とその素材展 平成23年2月28日(月)まで

今後の予定

○第10回ブナセンター講座「只見の自然から生まれた民具」
講師：新国勇さん 日時：1月16日(日)午後1時30分～3時

お知らせ

○ただみ・ブナと川のミュージアムは冬季も開館しています。
ただし年末年始12月28日(火)～平成23年1月4日(火)は休館いたします。

※この広報紙は再生紙を使用しています



※環境にやさしい大豆油インキを使用しています

イベントカレンダー

12月

● 23日(祝)

「只見スキー場オープン」
「喫茶キャンドル：只見スキー場」

1月

● 1・2日(祝・日)

「只見スキー場 新春歓迎イベント」
15日(土)

「冬の郷土食フェア」

● 23日(日)

「只見毎日杯GS大会：只見スキー場」

2月

● 12・13日(土・日)

「第39回只見ふるさとの雪まつり」
…JR只見駅前広場」

● 14日(月)

「冬の郷土食フェア」
スノーアドベンチャー」

▼お土産に豆類やそば粉、打ち豆などが喜ばれています。少量からでも販売できます。詳しくはお気軽にお問い合わせください。年末年始も休まず営業しております。

▼問い合わせ

一般社団法人
只見町観光まちづくり協会

☎0241-82-5250

営業時間 午前8時半～午後6時